

五八五〇六・五九一

10:00 ~ 18:00 (最終日 14:00 截止)  
2023年2月7日(火) ~ 2月19日(日)

# 蠶原千也展

第32回 道銀藝術文化獎賞受賞記念



## らいらっく・ぎゃらりい

札幌市中央区大通西4丁目  
北海道銀行本店ビル 1F  
地下鉄大通駅【出口4】【出口9】直結



## 公益財団法人 道銀文化財団

札幌市中央区大通西4丁目 道銀ビル別館8F  
TEL 011-233-1029 FAX 011-221-0481  
URL <https://www.dogin-bunkazaidan.org>

本冊子に掲載されている図版等の無断転写を固く禁じております。



2023年2月 公益財団法人 道銀文化財団

作家独自の感性で捉えた世界観や、是非この機会にご高覧願うお手本となる内申以上が主です。

第32回道銀藝術文化獎賞受賞記念展にて、中札内村在住の彫刻家 蠶原千也（アラハシカエ）さんの個展開催いたします。この機会にぜひお立ち寄りください。

巨木を相手に、斧や鑿でひたすらに削り、時に内部に自らの身体を潜り込ませながら彫り進める。藤原千也の制作行為は、闘うように、しかし一方で樹木が重ねてきた年月とその生命を慈しみながら、木との対話を重ねていく。顕現される造形は、荒々しさと圧倒的なエネルギーを湛え、重厚な荘厳さを漂わせる。穏やかな陽光のなかも、吹きすさぶ嵐のなかも、絶えず大地に根差し続け経てきた歳月、その重みが十全に感じられる。

一言でいえば壮観であり、鑑賞者はその存在感に圧倒される。しかしその壮観さは、ただ物理的な大きさだけに依拠するものではない。人間とは違う時間軸や存在、そしてその魂に迫ろうと立ち向かう彫刻家の姿。こうした様々な重さが、自然の木そのものかのような造形に内包されているためであろう。

本展の作品は、「この木が生まれた時の光をみたい」と思ったことがきっかけだという。気の遠くなるような歳月を遡り、その核に迫っていく。生命が存在することそのものの強さが、光の舟となって現れる。

佐藤 康平（札幌芸術の森美術館）



藤原 千也  
Fujiwara Kazuya

【近年の主な活動歴】

- 2009年 [個展] ひらかれている (茶廊法邑／北海道札幌市)  
2010年 [個展] ひらかれている (FLOWMOTION／北海道帯広市)  
2011年 [個展] ひとつの中心と呼吸する (とかるね／北海道豊頃町)  
[個展] N.P.blood 21 vol.10 藤原千也展 ひとりのひとにひとつずつ (北網圏北見文化センター美術館／北海道北見市)  
2013年 JRタワーアートプラネットグランプリ展 (プラニスホール／北海道札幌市)  
道東アートファイル 2013 in the LIGHT / in the SHADOW (北海道立帯広美術館／北海道帯広市)  
2014年 帯広コンテンポラリーアート 2013-14 防風林アートプロジェクト (空港線沿い防風林及び雪原 帯広市民ギャラリー／帯広市)  
モケラモケラ企画若手作家シリーズ 1 からすと山羊と鉛 見上げれば空展 (Art Space/café MOKERA MOKERA／旭川市)  
2015年 The open plan 十勝の明日 (北海道帯広市)  
六花ファイル (六花亭 六花文庫／北海道札幌市)  
2017年 ひかりの抜け道 (丸藤井セントラル／北海道札幌市)  
ピカリ展 -12人の切り口- (丸彦渡辺建設 まるひこアートスペース／北海道札幌市)  
2018年 藤原千也 オープンアトリエ (北海道河西郡中札内村)  
2019年 第38回帯広市民芸術祭 招待作家展 藤原千也展 -ふたたび生成のうちに- (帯広市民ギャラリー／北海道帯広市)  
はこだてトリエンナーレ／藤原千也展 -光景- (木古内町郷土資料館／北海道上磯郡木古内町)  
JRタワー アートボックス (JR 札幌駅／北海道札幌市)  
松本道子 × 藤原千也 ダンスと彫刻のコラボレーション (藤原千也のアトリエ／北海道河西郡中札内村)  
第23回 岡本太郎現代芸術賞展 (川崎市岡本太郎美術館／神奈川県川崎市)  
藤原千也 特別企画展 (中札内文化創造センター／北海道河西郡中札内村)  
2021年 札幌美術展 アフターダーク (札幌芸術の森美術館／北海道札幌市)  
2022年 札幌市南区芸術祭 (CO みどり／北海道札幌市)  
藤原千也 オープンアトリエ -生成- (北海道河西郡中札内村)

<https://kazuyafujiwara.com>



太陽の舟 2021年 木 (ボプラ) h207 x d208 x w700(cm)  
写真撮影:前澤良彰 画像提供:札幌芸術の森美術館



太陽のいす 2018年 木 (エゾマツ) h210 x d80 x w80(cm)



未踏/生成 2022年 木 (エゾマツ) h23 x d6 x w60(cm)  
写真撮影:箕浦伸雄